

議事録

日 時	令和5年3月2日(木) 10:00~12:00	
場 所	河内長野市役所 5階 501会議室	
議 題	第11回河内長野市 UR 南花台団地集約跡地活用整備事業推進委員会	
出席者	推進委員	7名(内1名 web にて出席)
	事務局(河内長野市政策企画課、 (株)ユーデーコンサルタンツ他)	8名
	株式会社梓設計関西支社	6名
	株式会社現代ランドスケープ	1名
資料等	第10回推進委員会議事録 【資料1】基本計画書(案) 【追加資料】(仮称)南花台中央公園 「南花台サロン」(ワークショップ)の概要	
議 事	1. 開会 2. 案件 (1) 基本計画書(案)について 基本計画書(案)の変更点、追記した点について説明【資料1】 12章 管理運営手法の検討については、現在取りまとめ中。作成次第、推進委員にメール等で確認をとり、基本計画書に取りまとめるものとする。 (2) 優先交渉権者意見交換 ・「南花台サロン」(ワークショップ)の概要について説明【追加資料】 事務局から優先交渉権者へ以下2点について説明を依頼。 ①市民、南花台住民の意見収集方法、設計プロセスを共有する具体的な手法について (優先交渉権者回答) ・「南花台サロン」という設計プロセスや整備の仮定を共有する場を提案し、ワークショップを行う予定。 ・ワークショップについては、単なる意見交換の場ではなく、参加者自らが身体を動かしたり、体験したりといった新しい公園のイメージがわくものとする予定。 ・南花台サロンの体制は、多世代の公募市民・住民などで構成するものとし、15~20人程度をイメージしている。 ②公園活動、運営、企画の仕組みの構築について (優先交渉権者回答) ・南花台サロンを進めていく中で、コアグループを形成していくことを想定している。公園維持管理事業者やスパンツァ大阪等の体制が早期の段階で決まるのであれば、各事業者とも協働しサポータークラブのようなものを設立していきたい。 (基本計画案で記載されている、パーククルーのようなイメージ) ・最終的には、サポータークラブでのイベントの企画、公園の運用につなげていきたい。	

以下推進委員会と優先交渉権者との意見交換を記載

①南花台サロン、ワークショップについて

- ・サロンの想定人数が15～20人程度となっているが、説明会を行った場合に60人～100人集まる状況であるため、人選が難しい可能性がある。
- ・実際に使ってほしい小・中学校の児童生徒対象のワークショップを企画してほしい。
- ・コノミヤの店舗に来る方の半数が南花台地区外であるため、そういった方の意見も取り入れるワークショップとしてほしい。
- ・南花台地域外の方の意見も積極的に取り入れていく必要があるため、参加したいと思わせる企画を考えてほしい。
- ・工事着工までの約1年間、計画地が更地のままとなるため、広大なスペースを有効活用できるワークショップや、既存の公園を活用した企画を行ってほしい。
- ・若い共働き世代が増えてきたことを考慮したワークショップの開催日時設定とする必要がある。
- ・多世代が参加するワークショップに乳幼児づれでも参加できる仕組みや仕掛けが欲しい。
- ・南花台サロンの場所はどこを想定しているか。
- ・ワークショップから、サポータークラブのコアメンバーの設立、運営段階のプラットフォームへとどうつなげていくかが重要である。現時点では、アイディアはいろいろ出ているがつながっていない感じがするため、今後詳細検討が必要と思われる。

(優先交渉権者回答)

- ・子どもたちが意見を出しやすいように、子どもたちのみのワークショップを設けることも検討する。また、多世代間で意見を共有することも大切と考えているため、親と子のグループでのワークショップ等、今後人選については協議していきたい。
- ・CSR活動にて、参加したくなるようなイベントの企画を行っているため、その経験を生かして、今回の計画でもそのような企画を考えていきたい。
- ・南花台サロンはコノミヤテラスと連携できる場所をお借りして設置をしたいと考えている。

②既存の地域コミュニティとの連携について

- ・咲く南花台というスマートエイジングシティのプロジェクトを通じて、コノミヤテラスの運営や多世代交流の様々なプロジェクトが行われているため、今後はコノミヤテラスとも協働しながら業務を進めてほしい。
- ・南花台のブランディング企画や、UR団地の空き住戸のリノベーション企画、商店街や学校等を巻き込んだ事業者の会等様々な形での活動や情報発信を行っているためそのようなところとも協力しながら、一緒になってまちづくりを担ってほしい。
- ・月一で開催されている総合研究会にも様々な立場の方が参加されているため、その方々とも議論しながら、パーククルーを今後どのように構築していくか（誰がリーダーシップを取っていくか）について協議していけたらと思う。

(優先交渉権者回答)

- ・今後ワークショップを進めながら、地域との連携方法や進め方を検討していきたい。

③提案書の内容について

- ・ パースで表現されている木は何年後のイメージか。
- ・ 記念樹の仕組みも公園に愛着が持つことにつながるのでは。
- ・ 南花台地域内の集約事業により集約される 14 か所の公園が持っていた役割を中央公園が担えるよう整備してほしい。
- ・ 公式試合で使われない日が年間 300 日ほど想定されるので、一般客にも開かれたスタジアムにしてほしい。
- ・ 錦秀会の看護専門学校の人工芝グラウンドについて、年間でジュニア約 2 万人が利用している。その利用者も見込めるよう計画してほしい。
- ・ 道路設計の際に、1 号線の中央分離帯について取り外しが可能な仕様とし、夏祭り時に歩行者天国にして、賑わい空間が生まれる等工夫してほしい。
- ・ 育児関連のおむつ台を男女両方に設置するなど、ジェンダー平等の視点での設備設計となるよう配慮してほしい。

(優先交渉権者回答)

- ・ パースの植栽は 15～20 年後をイメージしている。業者が植えるのではなく、地域の方々との関わりのなかで、苗木のころから世話をして植栽と一緒に成長していくことで、愛着をもって管理される公園になればと考えている。
- ・ その他いただいた意見については、今後の設計を進める際の参考にしていく。

(3) その他

- ・ 本推進委員会は今後もひと月に 1 回のペースで開催予定。

3. 閉会

以上